

令和八年度 福井県立高志高等学校入学式 式辞

穏やかな春の訪れを感じる今日の佳き日に、希望に満ちた入学の春が今年もめぐってまいりました。

この記念すべき日に、令和八年度 福井県立高志高等学校 入学式を挙げるにあたり、PTA会長様をはじめ、多くの来賓、ならびに保護者の皆様の御臨席を賜り、新入生の皆さんの御入学を祝福できますことを、心よりお慶び申し上げます。

高志高等学校・高志中学校の教職員を代表いたしまして、高いところからではございますが、皆様に心より御礼申し上げます。

ただいま入学を許可いたしました二百三十五名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

私たち教職員は、皆さんがこの日を迎え、高志高校の門をくぐることを心から楽しみにしていました。皆さんは、自らの意志で、この高志高校を選びました。入学式にあたり、その決断の重みをあらためてかみしめるとともに、これまで皆さんを支えてくださった保護者やご家族、先生方への感謝の気持ちを胸に、本校での生活の第一歩を踏み出してほしいと思います。

本校は、この春に第七十七回の卒業生を送り出した、長い歴史と伝統をもつ学校です。同時に、本校は常に時代の先を見つめ、新しい教育に挑戦し続けてきた学校でもあります。十一年前の平成二十七年には高志中学校が設置され、公立では県内唯一の併設型中高一貫教育校となりました。高志中学校から進学してきた生徒と、他の中学校から入学してきた生徒が切磋琢磨しながら学ぶことで、互いに認め合い、力を合わせて課題に向かう、いわゆる「協働・共創」の精神が、本校の確かな校風として育まれてきました。

また、令和四年度からは学科名称を、第一学年の「探究創造科」、第二・第三学年の「理数創造科」「人文創造科」へと改め、創造的な思考力、知的好奇心、そして主体性を育てる教育を、さらに充実させてまいりました。

本校はスーパーサイエンスハイスクールの認定を受け、今年で二十四年目を迎えます。ここ高志高校には、皆さんが思い切って挑戦し、試行錯誤を重ねながら学びを深めていくことのできる環境が整っています。ぜひこの恵まれた環境の中で、自分の可能性に挑戦し、新しい道を切り拓いてください。

さて、新入生の皆さんは、今日から三年間、この高志高校で学ぶことになります。高校時代の三年間は、皆さん一人ひとりの人生の方向を大きく形づくる、かけがえのない時間です。そこで、高志高校での三年間を実り多いものにするために、ぜひ心に留めてほしい

ことを二つお話しします。

一つ目は、「高い志をもち、失敗を恐れずに挑戦すること」です。

日本を代表する実業家・本田宗一郎は、「成功は九十九%の失敗に支えられている」と語っています。数々の失敗を重ねながらも挑戦を続けたからこそ、世界に誇る企業を築くことができたのです。

勉強、部活動、探究活動、校外での挑戦——どの分野でも構いません。失敗を恐れず、一歩踏み出してください。現代社会において、大学や企業が求めているのは、成功体験だけを語れる人ではありません。失敗を経験し、そこから何を学び、次にどう行動したのかを語れる人です。人は失敗からこそ、大きく成長します。どうか高志高校で、多くの挑戦と、多くの学びを積み重ね、自分自身を大きく成長させてください。

二つ目は、「自分は将来どうなりたいのかを考え続けること」です。

経営者の松下幸之助は、「人生は自分をつくる学校である」と述べています。高校生活の三年間は、まさに自分自身を形づくるための大切な時間です。日々の学びや活動を通して、自分は何に関心をもち、どのような生き方をしたいのかを、じっくり考えてください。

三年間ですべての答えが見つかるとは限りません。しかし、「自分はどうありたいのか」を考え続けることそのものが、主体的に考え、行動する力となります。悩み、考え、そして最後は自分で決断してください。

これからの社会は、正解のない問いに向き合い、他者と協働しながら新しい価値を生み出していく力を必要としています。高志高校での学びと経験が、皆さん一人ひとりの未来を支える、確かな力となることを、私たちは願っています。

いよいよ、新しい高校生活が始まります。新入生の皆さんが、高志高校生としての誇りを胸に、それぞれの夢と希望に向かって歩いていくことを、心から期待しています。

最後に、保護者の皆様、本日はお子様の御入学、誠におめでとうございます。本校の教育目標である「地域社会、国際社会のリーダーの育成」に向け、教職員一丸となって精一杯支援してまいります。今後とも本校の教育活動に、御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

新入生の皆さん一人ひとりが、今日の感動を忘れることなく、実り豊かな高校生活を送られることを願い、式辞といたします。

令和八年四月七日

福井県立高志高等学校 校長 三田村 正伸